

2025年1月27日

## 国連世界観光機関（UN Tourism）

### 世界観光指標（World Tourism Barometer）

#### 2025年1月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

#### 国際観光は2024年にパンデミック前の水準に回復

2025年1月20日

マドリッド

2024年の国際観光客到着数は14億人となり、国際観光が観光セクター史上最も深刻な危機から回復した年となった。2024年に、大半のデスティネーションがパンデミック前よりも多い観光客を迎え入れ、観光収入も力強い伸びを維持した。

最新の国連世界観光機関(UN Tourism)世界観光指標によると、2024年の国際観光客到着数は推定で約14億人となり、パンデミック前の水準の実質99%の回復を示した。これは、パンデミック後の旺盛な需要、大規模なソースマーケット（送客市場）からの堅調な実績、アジア・太平洋のデスティネーションにおいて進む回復により牽引されたもので、2023年比で11%、1億4,000万人の到着数の増加となった。

## 中東、ヨーロッパ、アフリカは 2019 年比で 2024 年が最も堅調な結果に

**中東**（到着数 9,500 万人）は、引き続き 2019 年比で最も好調な地域であり、2024 年の到着数はパンデミック前の水準を 32%上回ったものの、2023 年比では 1%の増加にとどまった。

- **アフリカ**（到着数 7,400 万人）は 2019 年比で 7%の増加、2023 年比で 12%の増加となった。
- 世界最大のデスティネーションである**ヨーロッパ**の 2024 年の到着数は、強い域内需要に支えられ 7 億 4,700 万人（2019 年比+1%、2023 年比+5%）となった。多くのデスティネーションがロシアのウクライナ侵攻により長引く影響を受けている中央・東ヨーロッパを除き、ヨーロッパの準地域(subregion)はすべてパンデミック前の水準を上回る結果となった。
- **米州**（到着数 2 億 1,300 万人）は、パンデミック前の到着数の 97%を回復し（2019 年比-3%）、カリブ海および中央アメリカはすでに 2019 年の水準を超えた。2023 年比では 7%の増加となった。
- **アジア・太平洋**（到着数 3 億 1,600 万人）は 2024 年も引き続き急速な回復を遂げたが、到着者数は依然としてパンデミック前の 87%であり、2023 年末の 66%からは改善した。2024 年の到着数は 33%増加し、2023 年から 7,800 万人増加した。

準地域では、北アフリカと中央アメリカが 2024 年に最も好調で、それぞれパンデミック前と比較して 22%、17%増加した。南・地中海ヨーロッパ（+8%）やカリブ海（+7%）も堅調な伸びを示し、北ヨーロッパ（+5%）や西ヨーロッパ（+2%）も同様だった。

UN Tourism グラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は「2024 年の国際観光はパンデミックから完全に回復し、多くのデスティネーションにおいて到着数、そして特に観光収入が 2019 年を上回りました。この好調な傾向は、成熟したデスティネーション及び新興のデスティネーションの社会経済的発展に貢献する旺盛な需要に牽引され、2025 年中も続くと予測されています。このことは、人々と地球を観光の発展の中心に据え、変革を加速させるセクターとしての私たちの大きな責任を再確認させるものです。」と述べた。



## 2024年、多くのデスティネーションがパンデミック前の水準を大きく上回る到着数を報告

月次データを報告している多くのデスティネーションにおいて、2024年は引き続き好調な結果を記録し、大半がパンデミック前の水準を超えた。2024年の最初の10か月～12か月間の入手可能なデータによると、いくつかのデスティネーションが2019年と比較して二桁の成長を示した。

- エルサルバドル (+81%)、サウジアラビア (+69%)、エチオピア (+40%)、モロッコ (+35%)、グアテマラ (+33%)、ドミニカ共和国 (+32%) は、いずれも2024年の12か月間でパンデミック前の水準を大幅に上回った。
- カタール (+137%)、アルバニア (+80%)、コロンビア (+37%)、アンドラ (+35%)、マルタとセルビア (ともに+29%) は、2019年の10か月又は11か月間と2024年の同期間比で強い成長を遂げた。
- 2024年の国際観光の完全な回復は、他の業界指標にも反映されている。[UN Tourism](#) [トラッカー](#)によると、国際航空旅客輸送のキャパシティーと輸送量は、2024年10月までに事実上パンデミック前の水準を回復した (IATA)。宿泊施設の世界的な稼働率は11月に66%に達し、2023年11月の69%を若干下回った (STR社データによる)。

## 観光による輸出は、2024年に過去最高の1兆9,000億米ドルに達した。

- 国際観光収入は、2023年に事実上ほぼパンデミック前の水準に達していたが、2024年は実質ベース (インフレと為替レート変動の調整後) で力強い伸びを示した。
- 暫定的な推計によると、2024年の観光収入は1.6兆米ドルに達し、2023年と比べて約3%、2019年と比べて4%増加した (実質ベース)。
- 2020年及び2021年には到着者1人当たりの平均支出は約1,400米ドルだったが、2024年は約1,100米ドルと推定され、成長が安定するにつれて

徐々にパンデミック前の水準に戻りつつある。なお、パンデミック前の平均である 1,000 米ドルよりはまだ上回っている。

- 暫定的な推計によると、観光総輸出（旅客輸送を含む）は 2024 年に過去最高の 1.9 兆米ドルに達し、パンデミック前と比べて約 3%増加した（実質ベース）。
- 2024 年の最初の 9 か月～11 か月間において、いくつかのデスティネーションが国際観光収入で顕著な伸びを示した。クウェート（+232%）、エルサルバドル（+206%）、サウジアラビア（+148%）、アルバニア（+136%）、セルビア（+98%）、モルドバ共和国（+86%）、カナダ（+70%）などである（いずれも現地通貨ベース）。これらの国々は、2023 年比でも二桁の伸びを記録した。
- 世界の観光収入上位 5 か国の中で、2024 年の最初の 9 か月～11 か月間に 2019 年比で、英国（+40%）、スペイン（+36%）、フランス（+27%）、イタリア（+23%）は堅調な伸びを示した。
- 国際観光支出に関するデータも同じ傾向を反映しており、特にドイツ、英国（いずれも 2019 年比+36%）、米国（+34%増）、イタリア（+25%増）、フランス（+11%）といった主要な送客市場において顕著である。インドからの支出は、2023 年に著しい伸びを示し、2024 年上半年も高水準を維持した（2019 年比+81%）。

## 2025 年の見通しは、成長の維持を示唆

- 2025 年の国際観光客到着数は、アジア・太平洋地域の回復が続き、その他の地域でも堅調な伸びが見込まれると仮定すると、2024 年比で 3%～5% の増加が予想される。この初期予測は、世界経済の状況が引き続き良好で、インフレが引き続き緩和され、地政学的な対立が悪化しないことを前提としている。
- この見通しは、2023 年（2022 年比+33%）及び 2024 年（2023 年比 +11%）の強い国際到着数回復を踏まえた、成長率の安定を反映している。



- 最新の UN Tourism 信頼指数も、これらの前向きな期待を裏付けている。UN Tourism 専門家委員の約 64%が、2025 年の見通しは 2024 年と比較して「良い」または「非常に良い」と予測している。約 26%が自国のデスティネーションは 2024 年と同様の実績となると予測しており、「悪い」または「非常に悪い」と考えているのはわずか 9%である。
- しかし、経済的、地政学的な逆風は依然として大きなリスクとなっている。2025 年に国際観光が直面する主な課題として、回答者の半数以上が、輸送費や宿泊費の高騰、さらには原油価格の変動などの経済的要因を挙げた。このような状況の中で、観光客は引き続きコストパフォーマンスを重視することが予想される。
- 地政学的リスク（継続中の紛争を除く）は、専門家委員の間で懸念が高まっており、経済的要因に次いで第 3 の主要な（リスク）要因として挙げられた。異常気象や人手不足も重要な課題であり、専門家委員が挙げた要因の中でそれぞれ 4 番目と 5 番目にランクされている。
- 2025 年は成長と持続可能性のバランスを取ることが重要になる。このことは、専門家委員が指摘した 2 つの主要なトレンド、「持続可能な観光の模索」と「あまり知られていない観光地の発見」に表れている。

## 関連リンク

[UN Tourism 世界観光指標](#)



## Tourism Statistics Database



### ○UN Tourism World Tourism Barometer (UN Tourism 世界観光指標「バロメーター」)とは

UN Tourism 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UN Tourism 本部から、年 4 回を目処に公表されます。国連世界観光機関（UN Tourism）駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

### ○国連世界観光機関（UN Tourism）について

UN Tourism は、1975 年 1 月に設立され、2003 年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UN Tourism 駐日事務所は、UN Tourism の地域事務所として 1995 年に設立されました。アジア・太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

#### ●お問合せ先（メディア専用窓口）

※メディアの方は UN Tourism 本部へ直接、英語でお問合せください。

E-mail: [comm@unwto.org](mailto:comm@unwto.org) Tel: (+34) 91 567 8100

#### ○お問合せ先（メディア以外）

UN Tourism 駐日事務所（一般財団法人アジア太平洋観光交流センター）

担当：吉田

E-mail: [info@unwto-ap.org](mailto:info@unwto-ap.org) Tel : 0742-30-3880